東京すくわくプログラム 活動報告　9・10月

テーマ 『音』

ねらい 『音と表現』

【活動内容】

①全クラス…夏祭りは「動物園」をテーマに開催。日中の活動では動物の鳴き声クイズに挑戦しながら『音』への興味を促す。

②幼児クラス…動物園へ遠足に行き、実際の動物や鳴き声に触れる。

【問いかけ】

①様々な動物を知り、動物によって鳴き声の違いを感じてみよう。

②動物の特徴を観察し、実際の鳴き声を聞いてみよう。

【活動報告①】

動物園をテーマにした夏祭り会場で子ども達にゲームや制作を楽しんでもらう。会場内のあちこちに様々な動物が登場し、BGMにも動物の鳴き声を使用することで、たくさんの動物を知る良い機会となった。
動物の鳴き声クイズでは、始めに動物の鳴き声だけを聞き「この鳴き声は何の動物かな？」と問いかける。子ども達は自分が知っている動物をたくさん挙げ、時には友達同士で意見交換をしながら正解を探そうと積極的に取り組む姿勢が見られた。また外遊びの際には川辺でカモの鳴き声や魚が跳ねる音を聞いたり、草むらではコオロギの鳴き声を聞いたりと身近な自然の音に触れる事が出来た。

◆夏祭りの様子◆　～動物園をテーマにした様々なコーナーを楽しむ子ども達～













◆ 動物クイズの様子◆　～魚の跳ねる音や鳥の声、虫の声を聞く子ども達～







【活動報告②】

幼児クラスは園バスに乗り、市川市動植物園に遠足に行く。何日も前から当日が待ち遠しい様子の子ども達。園内マップを見ながら「象が見たい」「キリンが好き」等、ワクワクした様子が伺えた。動物園では様々な動物を観察し、鳴き声、臭い、生活の様子等、リアルな生態に触れる事が出来た。観察時に「保育園で聞いた鳴き声と同じかな？」と問いかけると「同じだ」「ちょっと違う気がする！」と考えを巡らせる姿が見られた。触れ合いの際には率先して近づく子や怖がる子等、様々であったが普段の活動では出来ない良い体験となった。帰園後も「大きかったね」「いろんな臭いがしたね」「ママとも今度行くんだ」等、子ども同士の会話からも楽しかった様子がひしひしと伝わってきた。

◆動物園での様子◆　～様々な動物の鳴き声を聞いたり、間近で動物と触れ合う子ども達～











【振り返りと反省】

夏祭りから様々な動物を通してたくさんの音に触れ合う機会を設ける事が出来、良かった。子ども達は動物以外にも自然の中にあるたくさんの「音」に敏感に反応を見せてくれるようになったと感じている。今後の活動の中でも様々な「音」を意識をして生活できるよう声掛けをしながら、子ども達との関わりを大切にしていきたい。また幼児クラスは12月のお遊戯会に向けても様々な表現が楽しめるよう全力でサポートしていくと共に、これらの経験が子ども達にとって良い経験となる事を願っている。